

 日本映画大学 公開授業 **第2弾** 開催！

映画 『SAWADA』 上映 & 堀田泰寛 (撮影監督) トーク

日時：2023年11月20日(月) 13時～17時 (開場：12時30分)

会場：日本映画大学 新百合ヶ丘校舎 4階 大教室

入場無料・申込制

主催：日本映画大学

ドキュメンタリー映画 『SAWADA』 上映 (13:00～15:00) ※開場12:30



97年に公開され、同年のキネマ旬報文化映画ベストテン第1位に選ばれるなど高い評価を獲得したドキュメンタリー映画『SAWADA 青森からベトナムへ ピュリッツァー賞カメラマン沢田教一の生と死』を無料上映致します。35ミリフィルムでの上映は貴重な機会ですので、ぜひお越しください。

【あらすじ】

ベトナム戦争の最前線で多くの写真を撮影し、ピュリッツァー賞やロバート・キャパ賞など数々の賞に輝いたカメラマン、沢田教一の生涯をつづったドキュメンタリー。報道カメラマンとしてベトナム戦争に赴き、「安全への逃避」でピュリッツァー賞を受賞した沢田教一は、1970年10月28日にカンボジアのプノンペンで銃撃され、34歳の若さでこの世を去る。そんな沢田が残した3万枚のネガや数々の写真、そしてサタ夫人をはじめとした家族や肉親、高名な世界中のジャーナリストたちを含む友人・知人などの証言をもとに、波乱の人生を送った沢田の人としての生きざまや魂を浮かび上がらせていく。監督は「地雷を踏んだらサヨウナラ」で知られる五十嵐匠。

撮影監督・堀田泰寛トーク (15:00～17:00)

『SAWADA』上映後には、撮影監督である堀田泰寛氏の公開授業を開催致します。

堀田泰寛 撮影監督



1939年生まれ。63年、日映科学映画製作所撮影課に入社。69年にフリーとなる。70年、映画『日本の悪霊』(黒木和雄監督)で撮影監督としてデビュー。以降、大森一樹監督『ヒポクラテスたち』をはじめ劇映画、ドキュメンタリー、文化映画と幅広いジャンルで活躍する。話題となったドキュメンタリー映画『靖国』でも撮影を担当した。主な撮影作品に『ヒポクラテスたち』(大森一樹監督)、『幕末に生きる 中岡慎太郎』(吉田喜重監督)、『日曜日の子供たち』(監督・撮影堀田泰寛)、『アダン』(五十嵐匠監督)、『靖国 YASUKUNI』(李櫻監督)、『よみがえりのレシピ』(渡辺智史監督)、『光りの島』『風の島』(大重潤一郎監督)など多数。『SAWADA』の撮影により、第5回JSC賞、第50回日本映画技術賞受賞。

申し込み方法

右記の専用フォーム(QRコード)、
または下記URLよりお申込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/11POx9pPfYZVnuJqfTUDAKAEdmolXj7r6yy0xQin2lu4/edit>

※定員80名(先着順)



会場

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-30
日本映画大学 新百合ヶ丘校舎4F 大教室

お問い合わせ

r.shimada@eiga.ac.jp (担当：島田)